

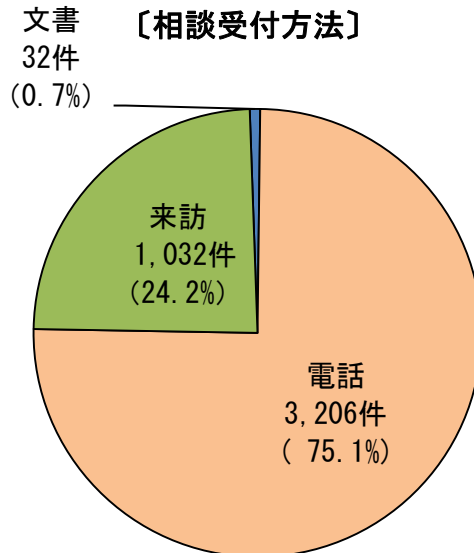
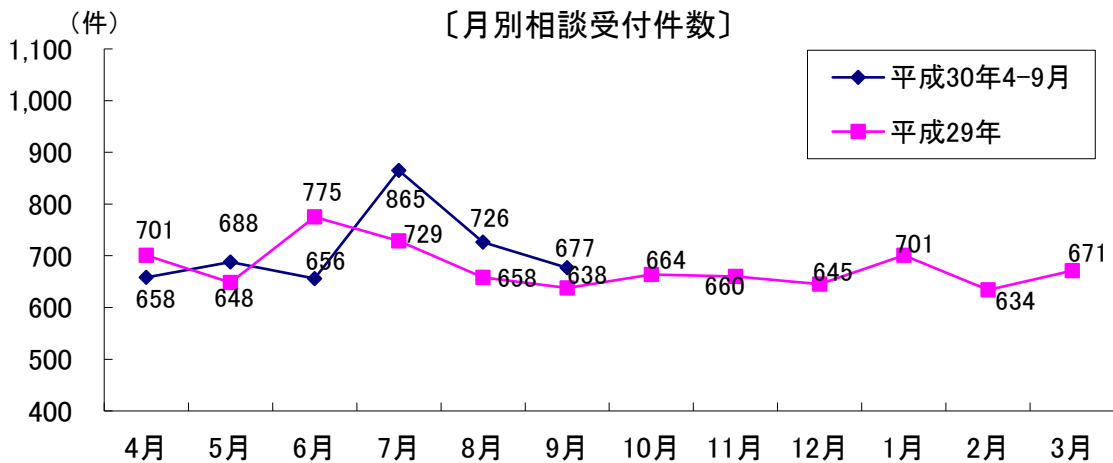
# 平成 30 年 4 - 9 月における青森県内の消費生活相談状況

## 1 相談受付状況

### (1) 概況

平成 30 年 4 - 9 月に県内の消費生活相談窓口で受け付けた消費生活に関する相談件数は、4,270 件（苦情相談 3,553 件、問合せ 717 件）であり、前年度と比較して 121 件（2.9%）増加しています。  
 （単位：件）

項目	年度	平成 30 年度 4 - 9 月 (a)	平成 29 年度 4 - 9 月 (b)	増 減 (a-b)	前年度比 (a/b)
苦 情		3,553	3,441	112	103.3%
問 合 せ		717	708	9	101.3%
計		4,270	4,149	121	102.9%

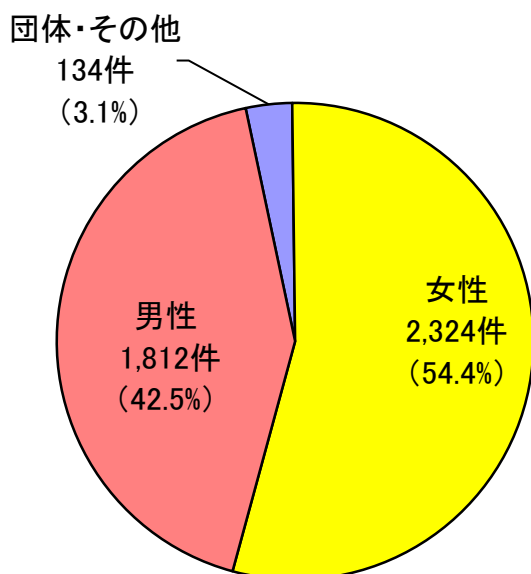


## (2) 契約当事者の状況

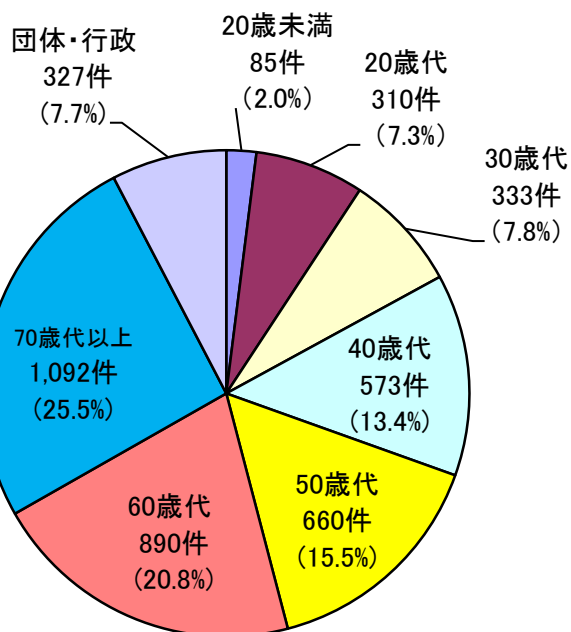
契約当事者を性別で見ると、女性が2,324件で、全体の54.4%を占めています。年代別では、70代以上が1,092件(25.5%)と最も多く、次いで60代が890件(20.8%)となっています。

また、契約当事者を職業別で見ると、給与生活者が1,508件(35.3%)と最も多く、次いで無職が1,421件(33.3%)となっています。

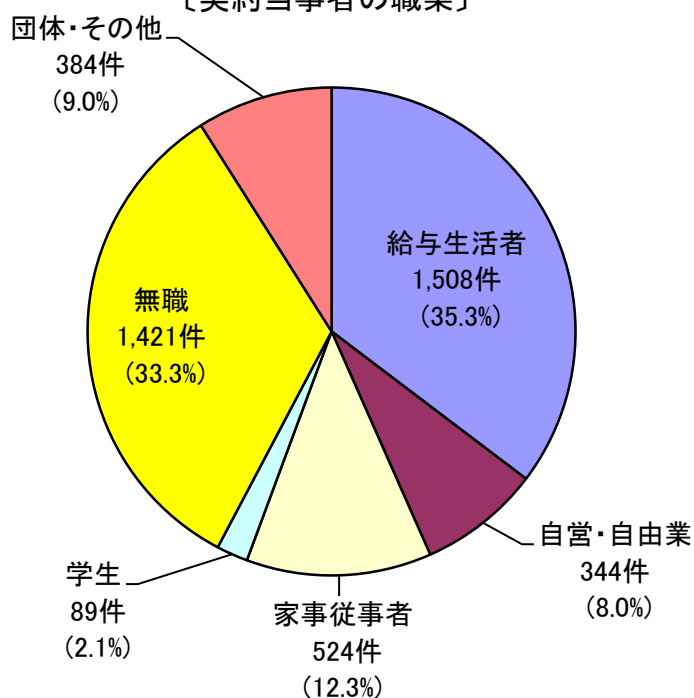
〔契約当事者の性別〕



〔契約当事者の年代〕



〔契約当事者の職業〕



### (3) 主な商品・役務別の相談受付状況

(単位：件)

	商品・役務名	平成30年度 4－9月 (a)	平成29年度 4－9月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
1	運輸・通信サービス	1,025	1,204	▲179	85.1%
2	商品一般	667	403	264	165.5%
3	金融・保険サービス	452	421	31	107.4%
4	食料品	277	261	16	106.1%
5	保健・福祉サービス	209	196	13	106.6%
	その他	1,640	1,664	▲24	98.6%
	計	4,270	4,149	121	102.9%

#### 1 「運輸・通信サービス」

平成30年4－9月の相談件数は1,025件で、前年同期より179件減少しています。主なものとしては、携帯電話やスマートフォンのSMS（ショートメッセージサービス）を悪用した架空請求に関する相談や、光回線サービス乗り換えの契約トラブルに関する相談が多くありました。

#### 2 「商品一般」

平成30年4－9月の相談件数は667件で、前年同期より264件増加しています。商品一般には、商品を特定できない相談や商品が多岐にわたる相談が分類されますが、「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」等の商品を特定しないハガキによる架空請求の相談が多かったことから、相談件数が増加しています。

#### 3 「金融・保険サービス」

平成30年4－9月の相談件数は452件で、前年同期より31件増加しています。主なものとしては、借金の返済が困難になったという多重債務に関する相談や、クレジットカードの年会費や入退会などの他の金融関連サービスに関する相談が多くありました。

#### 4 「食料品」

平成30年4－9月の相談件数は277件で、前年同期より16件増加しています。主なものとしては、健康食品の定期購入に関するトラブルの相談や、魚介類の電話勧誘に関する相談が多くありました。

#### 5 「保健・福祉サービス」

平成30年4－9月の相談件数は209件で、前年同期より13件増加しています。

主なものとしては、払い過ぎた医療費の還付があるという「還付金詐欺」に関する相談や、美容整形や医療費の支払いに関する医療サービスの相談が多くありました。

## (4) 相談に係る契約等の既払金額

平成30年4-9月の相談受付件数に係る既払金額等の状況を見ると、お金を支払った人の数は減少しましたが、既払金額合計、一人当たりの平均既払金額、最大既払額は増加しています。

	平成30年度 4-9月 (a)	平成29年度 4-9月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
お金を支払った人の数	658人	664人	▲6人	99.1%
既払金額合計	461,839千円	452,931千円	8,908千円	102.0%
平均既払金額(一人当たり)	702千円	682千円	20千円	102.9%
最大既払額	70,000千円	40,000千円	30,000千円	175.0%

## 2 特殊詐欺の状況

### (1) 概況

平成30年4-9月の相談件数は1,000件で、前年同期より71件増加しています。類型別にみると、振り込め詐欺の820件(相談件数の82.0%)が最も多く、次いでワンクリック詐欺の108件(同10.8%)となっています。振り込め詐欺のうち、架空請求詐欺が722件で前年同期より83件(13.0%)増加しています。

還付金詐欺に関する相談は98件で前年同期より5件(5.4%)増加しているものの、過去10年間で最も還付金詐欺の相談が多かった平成28年度(292件)をピークに減少しています。

(単位：件)

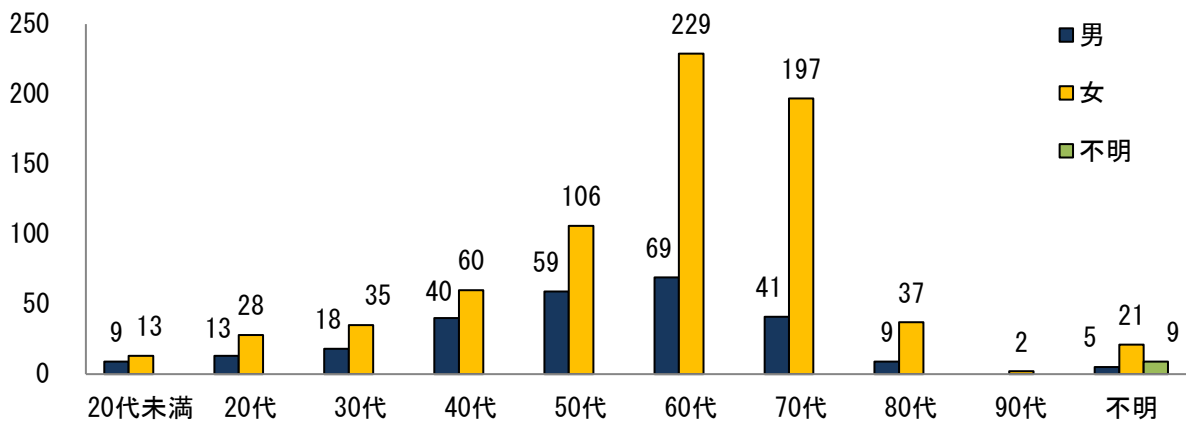
年 度	平成30年度 4-9月 (a)	平成29年度 4-9月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
類 型				
振り込め詐欺	820	742	78	110.5%
架空請求詐欺	722	639	83	113.0%
還付金詐欺	98	93	5	105.4%
融資保証金詐欺	0	7	▲7	-
オレオレ詐欺	0	3	▲3	-
ワンクリック詐欺	108	129	▲21	83.7%
金融商品取引名目詐欺	35	29	6	120.7%
異性との交際あっせん名目詐欺	31	22	9	140.9%
その他の名目詐欺(宝くじ)	4	5	▲1	80.0%
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺	2	2	-	100.0%
合 計	1,000	929	71	107.6%

### (2) 特殊詐欺に係る当事者の状況

平成30年4-9月における特殊詐欺に係る当事者を年代・性別で見ると、60代女性の229件が最も多く、次いで70代女性の197件、50代女性の106件となっています。

(件)

### 〔契約当事者の年代および性別〕



### (3) 特殊詐欺に係る既払金額

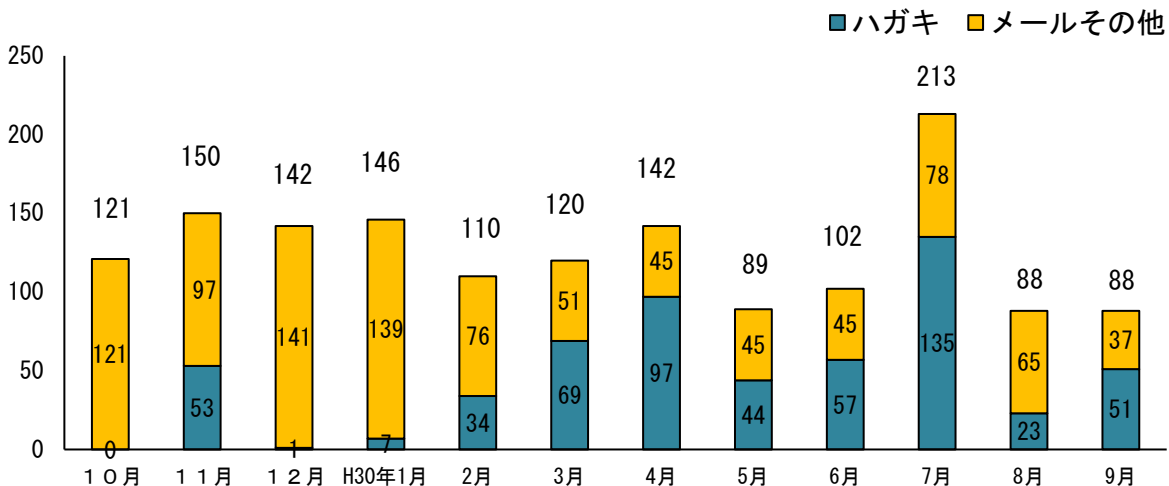
平成30年4～9月の特殊詐欺に係る既払金額等の状況を見ると、お金を支払った人の数、既払金額の合計、一人当たりの平均既払金額、最大既払額のすべてが減少しています。

	平成30年度 4～9月 (a)	平成29年度 4～9月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
お金を支払った人の数	48人	56人	▲8人	85.7%
既払金額合計	44,981千円	84,036千円	▲39,055千円	53.5%
平均既払金額(一人当たり)	937千円	1,501千円	▲564千円	62.4%
最大既払額	10,000千円	20,000千円	▲10,000千円	50.0%

### (4) 架空請求の相談状況の推移

架空請求の手口は、ハガキによるものとメールやSMSなどによるものに大別されます。平成29年10月から平成30年9月までの月別にそれぞれの割合をみると、平成30年2月までは、メール等による架空請求の割合が高くなっていましたが、3月以降はハガキの割合が高い傾向にあります。

#### 〔架空請求 手口別受付件数の推移〕



### 3 65歳以上の高齢者の状況

#### (1) 全般

##### ア 高齢者の概況

高齢者の相談は1,611件で、前年同期と比較して333件(26.1%)増加し、相談全体に占める割合も37.7%と3割を超えています。(単位:件)

項目	年度	平成30年度 4-9月 (a)	平成29年度 4-9月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
苦情		1,330	1,004	326	132.5%
問合せ		281	274	7	102.6%
計		1,611	1,278	333	126.1%

##### イ 高齢者の主な商品・役務別の相談受付状況

高齢者の相談では、商品一般に関する相談が386件と最も多く、前年同期より224件増加しています。「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」等の商品を特定しないハガキによる架空請求に関する相談が多かったことが件数増加の要因となっています。

次いで多いのは、運輸・通信サービスの259件で、前年同期より10件増加しています。

(単位:件)

	商品・役務名	平成30年度 4-9月 (a)	平成29年度 4-9月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
1	商品一般	386	162	224	238.3%
2	運輸・通信サービス	259	249	10	104.0%
3	食料品	141	128	13	110.2%
4	金融・保険サービス	136	127	9	107.1%
5	保健・福祉サービス	112	125	▲13	89.6%
	その他	577	487	90	118.5%
	計	1,611	1,278	333	126.1%

##### ウ 高齢者からの相談に係る契約等の既払金額

高齢者の相談に係る既払金額等の状況をみると、お金を支払った人の数と最大既払金額は増加していますが、既払金額合計、平均既払金額は減少しています。

	平成30年度 4-9月 (a)	平成29年度 4-9月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
お金を支払った人の数	196人	174人	22人	112.6%
既払金額合計	192,132千円	204,860千円	▲12,728千円	93.8%
平均既払金額(一人当たり)	980千円	1,177千円	▲197千円	83.3%
最大既払額	70,000千円	40,000千円	30,000千円	175.0%

## (2) 高齢者の特殊詐欺の状況

### ア 概況

高齢者の特殊詐欺に関する相談件数は470件で、前年同期より189件増加しています。類型別にみると、振り込み詐欺が442件（相談件数の94.0%）と最も多く、次いで金融商品取引名目詐欺とワンクリック詐欺がそれぞれ13件（同2.8%）となっており、高齢者においても、架空請求詐欺が大きな割合を占めています。

（単位：件）

年 度	平成 30 年度 4－9 月 (a)	平成 29 年度 4－9 月 (b)	増 減 (a-b)	前年比 (a/b)
類 型				
振り込み詐欺	442	241	201	183.4%
架空請求詐欺	365	151	214	241.7%
還付金詐欺	77	87	▲10	88.5%
融資保証金詐欺	0	0	0	-
オレオレ詐欺	0	3	▲3	-
金融商品取引名目詐欺	13	20	▲7	65.0%
ワンクリック詐欺	13	17	▲4	76.5%
その他の名目詐欺（宝くじ）	2	3	▲1	66.7%
異性との交際あっせん名目詐欺	0	0	-	-
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺	0	0	-	-
合 計	470	281	189	167.3%



### イ 高齢者の特殊詐欺に係る既払金額

高齢者の特殊詐欺の相談件数に係る既払金額等の状況をみると、お金を支払った人の数、既払金額合計、一人当たりの平均既払金額、最大既払額のすべてが減少しています。

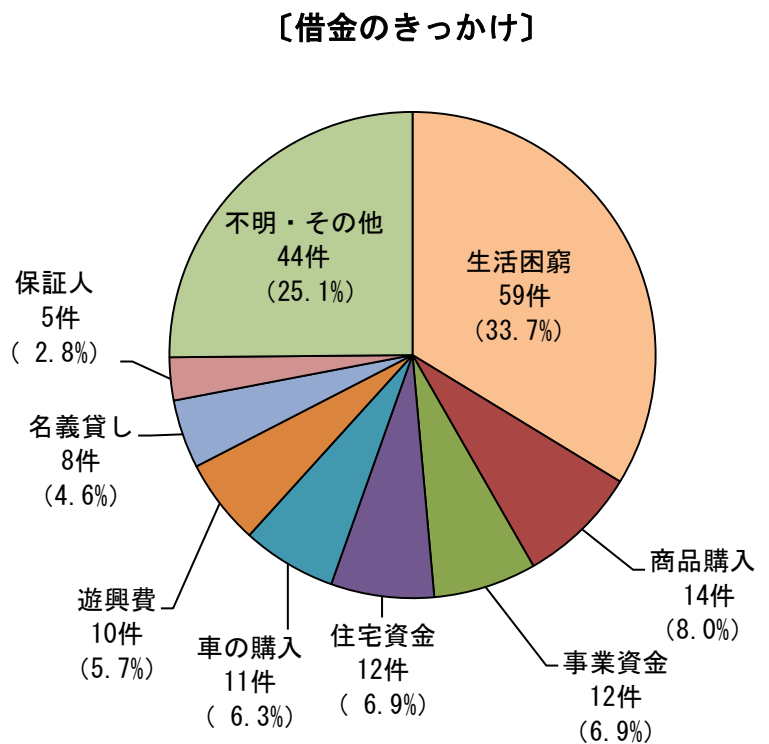
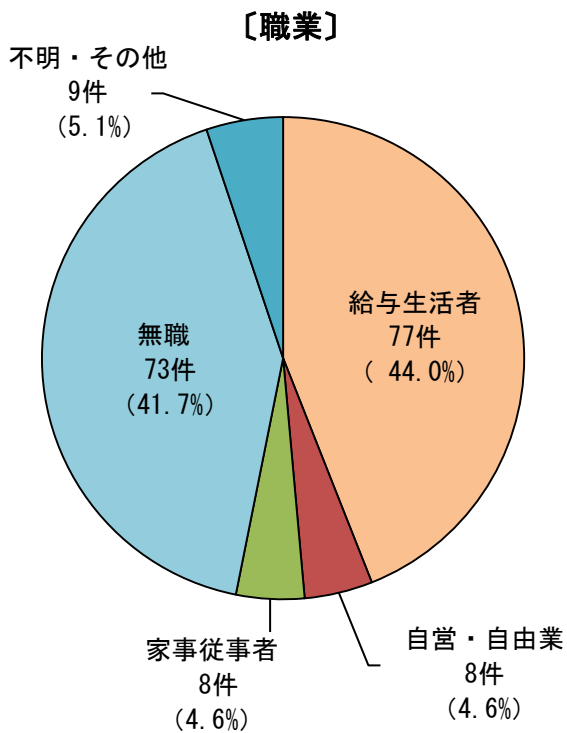
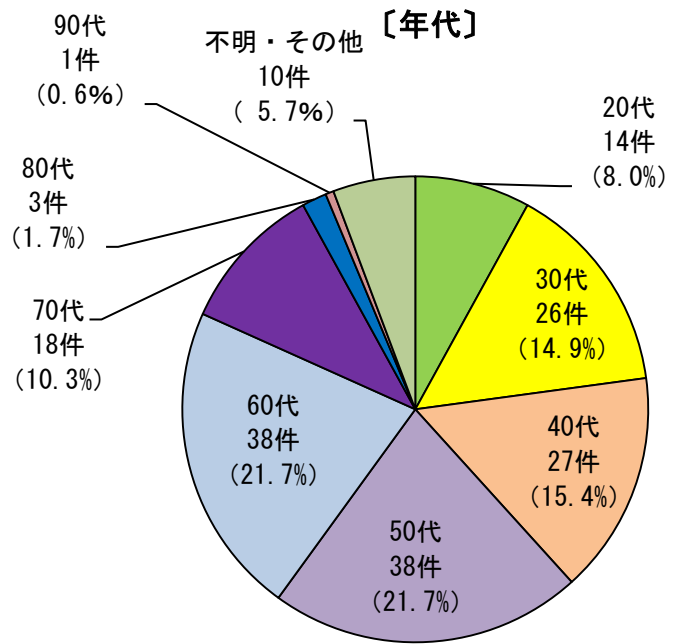
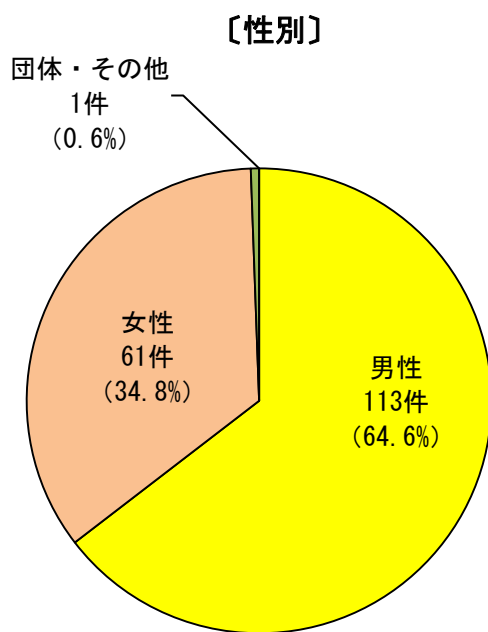
	平成 30 年度 4－9 月 (a)	平成 29 年度 4－9 月 (b)	増 減 (a-b)	前年比 (a/b)
お金を支払った人の数	7 人	8 人	▲1 人	87.5%
既払金額合計	7,270 千円	43,295 千円	▲36,025 千円	16.8%
平均既払金額（一人当たり）	1,039 千円	5,412 千円	▲4,373 千円	19.2%
最大既払額	4,000 千円	20,000 千円	▲16,000 千円	20.0%

## 4 多重債務に関する相談の受付状況

平成30年4～9月における多重債務に関する相談件数は175件で前年同期より3件増加しました。

(単位: 件)

	平成30年度 4～9月 (a)	平成29年度 4～9月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
相談受付件数	175	172	3	101.7%





## 5 ヤミ金などの相談の受付状況

平成30年4-9月におけるヤミ金などに関する相談件数は15件で、前年同期より14件(48.3%)減少しています。

(単位：件)

	平成30年度 4-9月 (a)	平成29年度 4-9月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
ヤミ金	14	21	▲7	66.7%
融資保証金詐欺	0	7	▲7	-
借金整理屋	1	1	-	100.0%
ショッピング枠現金化	0	0	-	-
計	15	29	▲14	51.7%

